



ミズノの英国現代奴隷法 2015 に対する表明（ステートメント） F Y 2017

この表明は、現代奴隷法 2015 に対し、2018 年 3 月 31 日に終了する会計年度のミズノ株式会社およびそのグループ（以下、ミズノと呼ぶ）における事業とサプライチェーンにおける対応策を述べたものです。

導入・はじめに

ミズノは、“良いモノづくり”とは、商品が安全・安心で高品質であることはもちろん、その生産工程において人権、労働、環境面などが国際的な基準からみて適切であることが重要だと考えています。ミズノ製品の生産には、国内外の仕入先や製造委託先工場など多くのパートナーが関わっており、“良いモノづくり”にはサプライヤーとの協働が不可欠です。そのため、ミズノでは、サプライヤーとともに、法令遵守はもとより人権尊重、労働環境の安全性、環境保全などを監査し、問題があれば改善を図り、労働環境を適正に保つための活動「CSR 調達」に 2004 年から取り組んでいます。

自社のモノづくりが工場で働く人々や地域社会に与える影響を認識し、サプライヤーの方々に経営や労働環境の改善、生産効率化や競争力強化といったメリットをもたらすものとなるよう、また、地域社会にプラスの影響をもたらすものとなるよう、サプライヤーとの信頼と協働に基づく CSR 調達を推進しています。

当該事業体の組織体制、事業内容およびサプライチェーン

ミズノは、ミズノ株式会社を中心として、子会社 20 社及び関連会社 4 社で構成されており、スポーツ品の製造及び販売を主な事業内容としています。ミズノイギリス支店は、ミズノ株式会社を本社（日本・大阪）とする、欧州 3 支店の 1 つになります。

ミズノでは、スポーツシューズ、スポーツウエアおよびゴルフクラブなどの商品を自社工場および製造委託先工場で製造しており、主要な製造委託先工場の所在国は、日本、中国、韓国、台湾、インドネシア、ベトナム、タイ、フィリピン、ミャンマー、カンボジアなどで、400 以上の製造委託先工場があり、170 工場以上に対し、CSR 監査を通じ、環境や人権、労働慣行状況を確認するとともに、ミズノの CSR 調達行動規範の尊重を求めています。

奴隷および人身売買に関する当該事業体の方針

サプライヤーとの関係に加えて、2011 年、ミズノは、人権保護と製造工場の労働者の労働条件を改善するために、国際繊維、衣料品および皮革労働者連盟（ITGLWF）（現在のインダストリアル）、UI ZENSEN（現在の UA ZENSEN）およびミズノユニオンと「グローバルフレームワーク契約」に署名しました。こ

の合意の結果、ミズノは加盟団体をパートナーとして尊重し、国際労働機関（ILO）が提供する中核的労働基準（結社の自由および結社の権利の保護、児童労働の廃止など）を厳格に実行します。

ミズノでは、世界人権宣言や ILO 中核的労働基準を含む労働関連の国際行動規範を尊重しています。事業展開する国々の労働時間、報酬、労働組合選択権及び団体交渉権、労働条件その他を含むあらゆる労働関連法規に従い、個人が尊厳と公正さと尊敬の念をもって扱われるような職場作りをめざしています。ミズノは、社会的責任に関する国際的なガイダンスである ISO26000 の観点を加えた CSR 調達行動規範「CSR 調達行動規範」を定め、ミズノの考えをサプライヤーにも伝えるとともに、これらの原則を遵守することを要請しています

ミズノは倫理規範の中で、人権の尊重についての項目を設け（第 10 条）、その中で強制労働・児童労働を行わないことを表明し（第 10 条 3 項）、CSR 調達行動規範の中でも人権の項目を設け、強制労働・児童労働の禁止を表明しています。（第 2 条 1 項）

ミズノでは、奴隷労働・人身売買は、強制労働・児童労働の中に含まれるリスクの 1 つであると捉え、強制労働・児童労働の禁止を表明し、CSR 調達によりこの実現を目指しています。

当該事業体の事業およびサプライチェーンにおける奴隷および人身売買に関する調査（デューデリジエンス）のプロセス

取引中のサプライヤーCSR 監査については、「ミズノ CSR 調達規程」に基づき、主な製造委託先工場である 240 以上の工場に直接赴き、定期的（3 年で一巡）にミズノ CSR 調達行動規範に定める内容の遵守状況についてモニタリング（CSR 監査）を実施しています。

モニタリングは、通常 1 日から数日にわたり、複数の監査人による現場検証、文書確認、従業員とのインタビューで構成されます。ISO 26000 に基づく共通のモニタリングシートを使用して、法令順守を確認し、監査項目を致命的、重大、および一般の 3 つに分類し、ポイントの加算方式の監査を採用しています。

施設によっては、監査項目に該当しないことがあるため、該当する項目の総合計点に対する得点の割合で評価の結果を示します。問題が見つかった場合は、工場とともに適切な是正措置を検討し、C 以下の評価の場合には 6 か月後にフォローアップ監査を実施します。2017 年度には、43 の工場を監査しました。

現在、当社と直接取引関係のあるミズノの 1 次サプライヤーを最優先し、人権、労働、環境に関する CSR 監査を実施、必要に応じて法令違反の是正を要請しています。2 次および 3 次サプライヤーにまで、拡大することは難しいため、適切な監査の範囲および監査基準を確定した上で、人権、労働慣行、および環境に重大な悪影響をあたえる恐れのある高リスク生産プロセスのある 2 次および 3 次サプライヤーに絞り、工場の監査を実施していきます。

現時点では、ゴルフヘッドのメッキ、生地染色、野球のグローブまたはシューズのなめし革などの 2 次および 3 次サプライヤーの監査を検討しています。2017 年度は、日本の金属加工工場とタイの織物染色工場を訪問し、現状を把握しました。タイの織物染色工場では、現在のチェック項目に加え、環境項目を追加して

CSR 監査を実施し、その有効性を検証する予定です。メッキ工場や皮なめし工場でも同様に継続的に、有効性を検証していきます。

多くの利害関係者の協力なしには、フェアプレイ、フレンドシップ、ファイティングスピリットを尊重し、持続可能な社会の実現と地球環境の保全に貢献することはできません。ミズノは、さまざまな利害関係者からの要求、期待、コメント、評価に真摯に耳を傾け、それらを研究し、それらを事業活動に反映させることが重要であることを理解しています。

奴隷および人身売買のリスクがある当該事業体の事業およびサプライチェーンの特定と、当該リスクを評価し、管理するために採った措置

2017 年度に、ミズノは世界銀行ガバナンス指標（Worldwide Governance Indicators : WGI）の最新データ（2016 年）を基本に、ミズノが過去に実施した CSR 監査による評価を加えて総合的な国別の分析を実施しました。我々はその分析結果を利用して世界の 214 の国と地域のリスクを評価し、OEM 工場と新に取引を開始するかどうかの判断材料にするとともに、CSR 監査の対象国と非対象国を設定しています。さらにミズノ製品の何がどの国で作られているかを四半期ごとにチェックしています。

事業およびサプライチェーンにおいて奴隷および人身売買が行われないことを確保するために採った措置の実効性

遵守状況の確認には、ISO26000 をベースとしたグローバルで共通のモニタリングシートを使用し、監査項目を致命的、重大、一般の 3 段階に分類し、ポイント加算方式で行っています。児童労働や強制労働は致命的に分類され、身分証明者などの書類チェックと従業員インタビューによって確認しています。

CSR 監査の中で児童労働や強制労働（奴隷労働や人身売買など）が発見された場合は、ほかの項目の評価に関わらず、監査員は直ちにミズノ本社の法務部 CSR 課に連絡の上、対応について指示をうけることを手続きで定めています。

当該事業体のスタッフのための奴隷および人身売買に関するトレーニング

ミズノでは CSR 調達の考え方を社内外に理解してもらうための説明会やセミナーを各国で随時行っています。社内向けには、全社員を対象とした社員教育を実施するとともに、各生産部には、個別の説明会を実施、社外向けには、主なサプライヤーを対象とした集合研修会の中で CSR 調達をテーマにした教育時間を設けています。また、主な製造国を随時訪問して工場ごとに個別・集合の研修会を行っています。

2017 年度は、キャパシティ・ビルディングの取り組みとして「ミズノ CSR セミナー」を国内 2 か所で開催し、仕入先 11 社 21 名を対象に CSR 調達への理解を深めていただくことを目的に、現地法令や是正対策なども盛り込んだ内容で行いました。

ミズノ株式会社では、経営陣が事業運営に伴う経済的、環境的、社会的影響、および事業との関係を十分に理解し、トップダウンによるビジネス上の意思決定やビジネス戦略策定には、CSRの現在考え方を取り入れることが非常に重要であると考えています。そこで、専門家を講師として招き、取締役と執行役員の15名に対して、グローバルCSRの現状に関するセミナーを実施しました。2018年度には、4月に第2回目のセミナーを開催し、その知識をさらに深めることができました。8月には、第3回目のセミナーを予定しています。

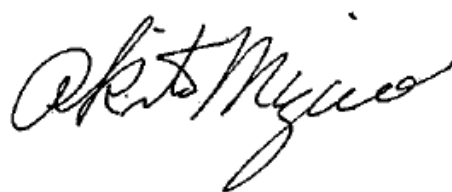
この表明はミズノ取締役会の承認を得ています。

2018年9月30日

ミズノ株式会社

代表取締役社長

水野 明人

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Akito Mizuno', written in a cursive style.